

宗像大社辺津宮の概要

一般的には宗像大社とも呼ばれる辺津宮は、九州本島にあり福岡市から公共交通機関で約 1 時間です。宗像大社を構成する 3 つの神社の中で、最大で最もアクセスしやすい場所にあり、4 世紀まで遡る品々を所蔵する神宝館が敷地内にあります。

現在の社殿は、かつて九州北岸の一部を治めていた宗像氏により建てられました。本殿は 12 世紀以前に建てられましたが、ここでの信仰の歴史ははるかに前まで遡ります。初期の信仰は、本殿裏の森にある高宮祭場という古代の祭場に由来します。本殿は宗像三女神の一柱・市杵島姫神を祀っています。他の二柱は、本殿の背後にある 2 つの末社に祀られます。

神宝館は本殿の左側の境内にあります。神宝館は沖ノ島で発掘された 8 万点以上の品々を所蔵しています。金の宝飾品や陶磁器やガラス製品など儀式の奉獻品として使用された貴重な品々が展示されています。
